

♪ 東秩父村の学校給食 ♪

～ 7月7日（水）の献立 ～

実際の
給食



7月7日の給食は、七夕をお祝いした「七夕ちらし寿司」を主食にした献立です。七夕汁には「そうめん」が入っています。七夕にそうめんを食べる習慣は、天の川や織り糸をそうめんに見立てたという説と、昔から中国で7月7日に食べられていた「さくべい」というお菓子がそうめんに変わったという説があります。

昔、7月7日は「たなばたつめ」という女の人がはたを織り、その布を神様に供えて病気や悪いことが起こらないように願う日でした。また、同じ日に中国では、おり姫とひこ星の伝説、はた織りやぬい物が上手になるように、と願う行事がありました。

七夕は日本と中国の2つの行事が結びついて始まった行事といわれています。

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230

和紙の里で働く地域おこし協力隊員の紹介



左：岡田愛里さん

右：足立 桜さん

道の駅和紙の里ひがしちちぶで、新しく地域おこし協力隊2名を採用しました。お2人とも20代、若い力で東秩父村を盛り上げていただきたいと思います！

足立さん：紙漉き職人を目指して、4月から

紙漉き工房で働いています。

岡田さん：7月から、和紙の里ホームページの管理・運営、インスタグラムの更新などを行っています。